

[Sreakeサービス紹介] 生成AI導入支援

はじめに

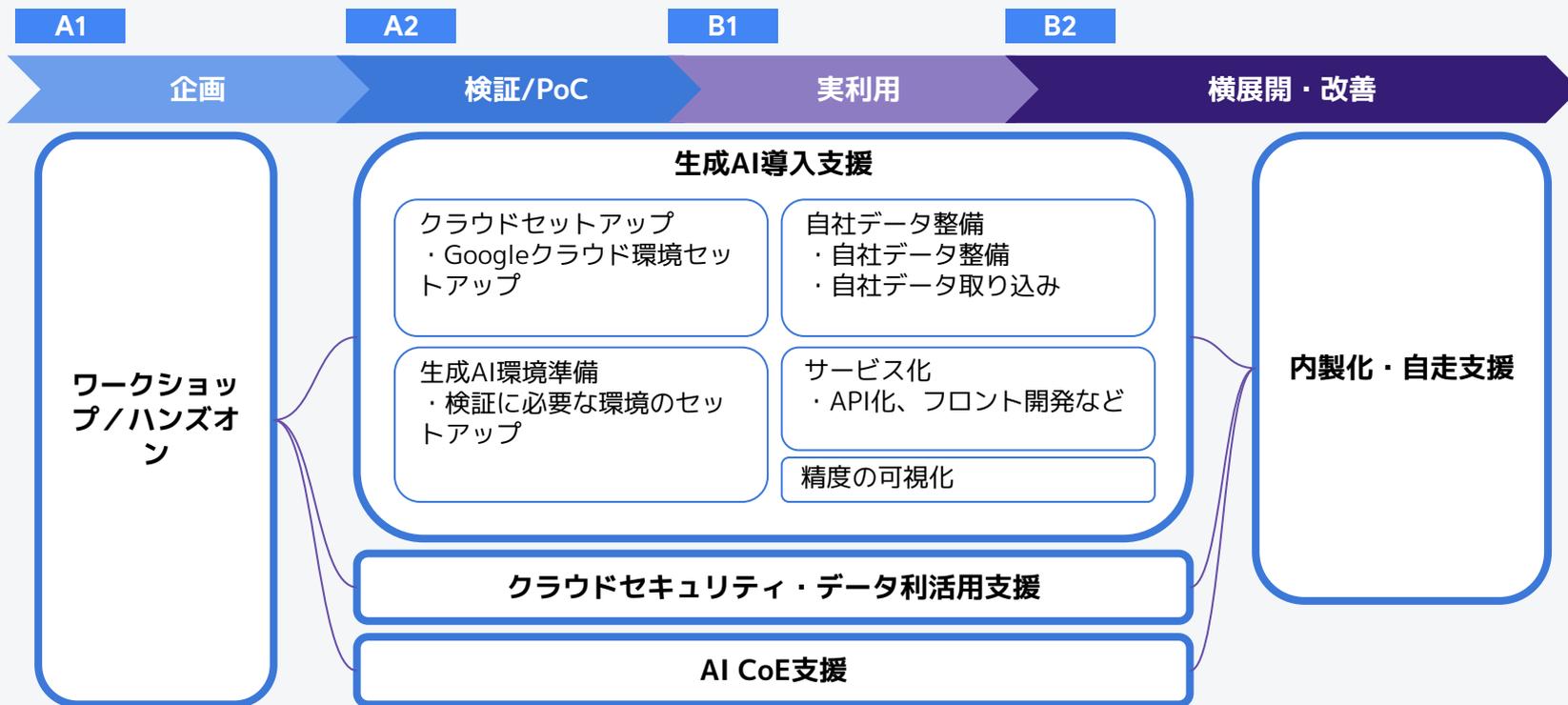
1. 生成AIの概要

- **生成AI (Generative AI) とは**
 - 学習済みのデータを活用し、文章・画像・音声・動画・コードなどを新たに生成するAIをさす
 - 有名な生成AIモデルとして、GPT (OpenAIが公開)、Gemini (Googleが公開) などがある
- **生成AIと機械学習の違い**
 - 機械学習は学習に使う大量データを元にパターンや規則・法則性を求め、将来のデータや未知のデータの予測や分類を行うためのもの。生成AIは機械学習で学習した知識 (モデル) を元に、新しくデータやコンテンツを生成するもの。
- **どの手法を選択すべきか**
 - 機械学習を独自に行うとなると大量の学習データの準備や学習に必要な環境 (GPUなど) の準備が必要となるが、生成AIについては比較的利用までのハードルは低い。
 - また、生成AIの機能や精度は日々進化しており、適応範囲・適応業務についても日々進化している。そのため、利用したいユースケースについて、まずは生成AIが利用できないかを試行し、どうしても難しい場合や高い精度が求められる場合において、機械学習を選択することが合理的と思われる。

2. 生成AI利用のユースケース

- 生成AI利用における代表的なユースケースを次に記載する
- **業務効率化**
 - コンタクトセンター／CS対応の高度化（自社マニュアルを踏まえた回答の自動生成など）
 - 打ち合わせの音声の文字化・要約を行うことで自動面談履歴の作成
 - 顧客向け資料作成時のアウトライン作成
 - 顧客データ分析サポート
 - ソフトウェア開発時のコード入力サポート（コード自動生成）
- **新ビジネス・新価値創造**
 - 顧客が選択した商品に対する組み合わせNGの照会と別商品のレコメンド
 - 広告クリエイティブの候補の自動生成
 - パーソナライズした顧客体験の提供
- **育成・教育**
 - 新入社員に自社ナレッジを教育してもらう際に、新入社員が気軽に問い合わせできるサポート先

生成AI導入支援サービスのご紹介



1. ワークショップ・ハンズオン

- **ターゲット**
 - 生成AIを使ってみたいが具体的にどうして良いかわからないお客様
- **ご支援内容**
 - 期間：1day（ワークショップのみ）～3day（ワークショップ+ハンズオン）
 - サービス内容
 - 生成AIの具体的な使い方や事例、実際の画面をお客様に触って頂きます
 - お客様の環境にハンズオン環境を構築しますのでハンズオン後も継続して触っていただくことが可能です
 - お客様に適したユースケースイメージのすり合わせも合わせてご支援します
- **この取り組みのゴール**
 - お客様のユースケースの具体化
 - 生成AIを実際に自社で利用する際の課題と対策の具体化
 - ROIの判断ポイントの明確化

2. 検証・PoC

- **ターゲット**
 - ユースケースを元に実際に動かして検証を進めたいお客様
- **ご支援内容**
 - 期間：1month～3month
 - サービス内容
 - ユースケースに従って検証ができる環境を構築します
 - お客様環境に構築しますのでPoC後も引き続き検証が可能です
 - 生成AIの利用におけるナレッジの共有（各種サービス比較、事例などの共有）
 - 生成AIの利活用検討支援（ユースケースを元にどのような対応や環境構築が必要かの検討支援）
 - お客様がご契約したクラウド環境に生成AIのPoC環境の構築を行い、検証のご支援
 - 内製化のご支援／スキルトランスファー
- **この取り組みのゴール**
 - 生成AIを本格的にビジネスに利活用できるかどうかの判断
 - 本格的にビジネスで利活用するためのロードマップ
 - 生成AIの本格活用に必要なリソースや概算費用の把握

3. 実利用のご支援

- **ターゲット**
 - 本格的に生成AIをビジネスに利活用するお客様
- **ご支援内容**
 - 期間：3month～
 - サービス内容
 - 生成AI利用環境を実際のビジネスで利用できるように次のような対応を行います
 - UI/UXの整備
 - セキュリティ設計・設定
 - 拡張性の設計・設定
 - API開発
 - その他必要な開発
- **この取り組みのゴール**
 - 実際のビジネスでの生成AIの利活用

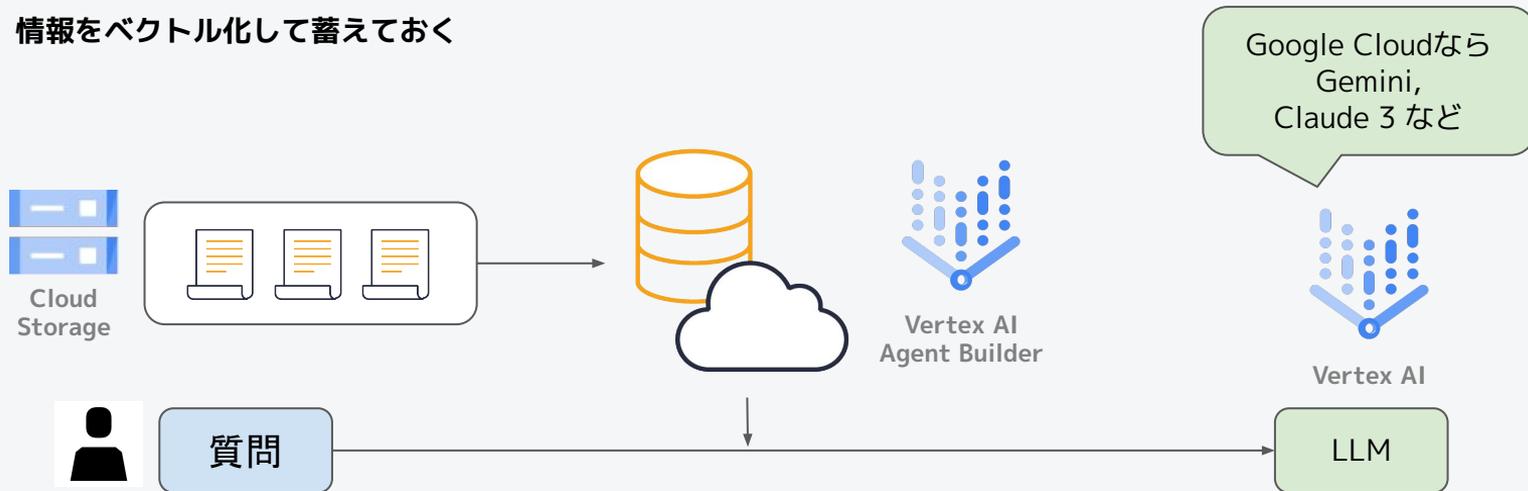
4. 横展開・改善のご支援

- **ターゲット**
 - 生成AIのビジネス利用をさらに拡大したいお客様
- **ご支援内容**
 - 期間：3month～
 - サービス内容
 - AI CoEのご支援
 - 生成AI利活用におけるセキュリティルール・ガバナンス策定
 - データ基盤の整備
 - 内製化支援、ナレッジトランスファー
- **この取り組みのゴール**
 - お客様の中での生成AI利活用が継続的に進むこと

5. (参考) 構成イメージ

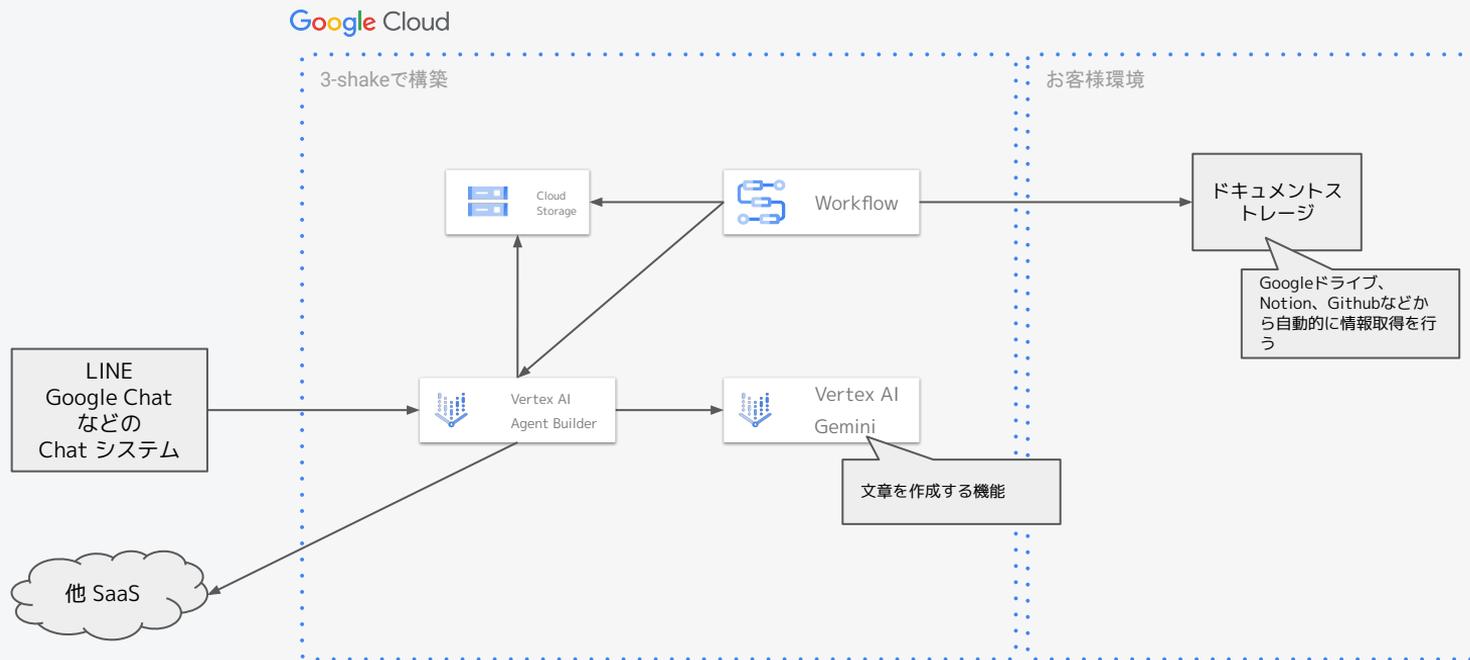
LLM (Large Language Model : 大規模言語モデル)が知らない情報を外部から与えて拡張する手法

- 質問に関連する情報を context に含める
- 情報をベクトル化して蓄えておく



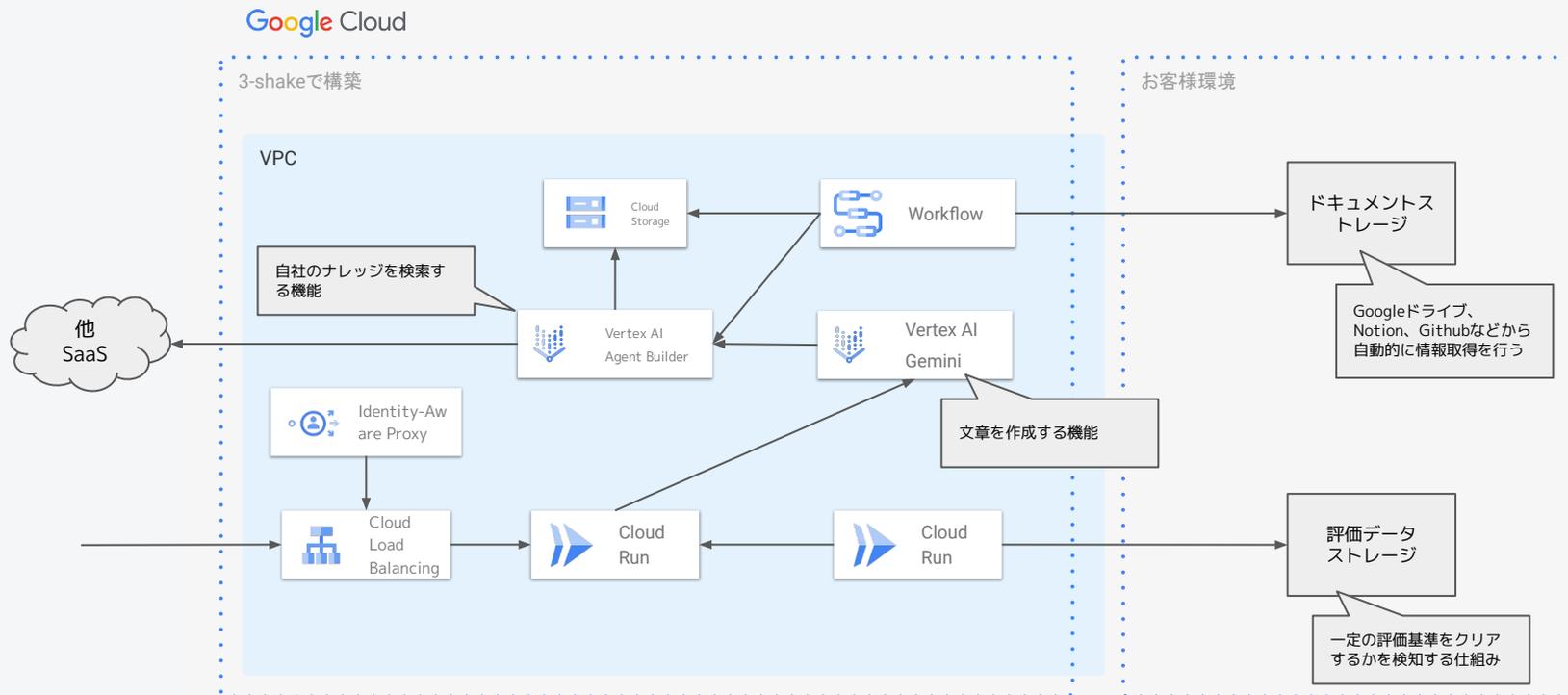
5. (参考) 構成イメージ

チャットベースのシステムを構築する場合



5. (参考) 構成イメージ

複雑な要件 + webページ必須 の場合



生成AIの導入支援のご相談がございましたら
次のお問い合わせ先にご連絡ください。

3>SHAKE

お問い合わせ先：

株式会社スリーシェイク

住所： 東京都新宿区大京町22-1

URL: <https://sreake.com/contact/>

Email: business@3-shake.com（代表）

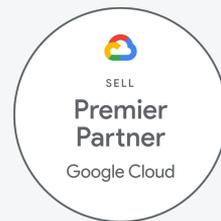
会社概要

会社名 株式会社スリーシェイク
設立日 2015/1/15
代表者 代表取締役社長 吉田 拓真
所在地 東京都新宿区大京町22-1
グランファースト新宿御苑3F・4F

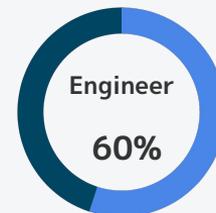
Mission: インフラをシンプルにして
イノベーションが起こりやすい世界を作る

Vision: 労苦 (Toil) を無くすサービスを適正な価格で提供し続ける

Value: エンジニアリングレイヤーに横たわる人、手法、ツールが
サイロ化されて労苦が発生しているプロセスをシンプルにし
サービス機能開発に集中できるソリューション
(SRE、DevSecOps、DataOps、HROps) を提供する



Google Cloud、AWSの両方に強みを持ち
SREを軸にご支援





SRE/DevOps



- ・ SRE総合支援からセキュリティ対策を全方位支援
- ・ Geminiを用いた生成AIの活用支援

BizOps



- ・ クラウド型ETL/データパイプラインSaaSの決定版
- ・ あらゆるSaaSをノーコードで連携

SecOps



- ・ ワンストップで脆弱性診断を行うセキュリティ対策SaaS

HR



- ・ ハイスキルフリーランスエンジニア紹介エージェント



IT内製化 / 高度化

クラウドネイティブ化

モダナイゼーション

ITアジリティ向上

Thank You